



## 2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月13日

上場会社名 株式会社 I-ne 上場取引所 東  
 コード番号 4933 URL https://i-ne.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大西 洋平  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 橋本 恒平 (TEL) 06-6443-0881  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	16,226	—	849	—	750	—	501	—
2019年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 466百万円(—%) 2019年12月期第3四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	71.24	67.70
2019年12月期第3四半期	—	—

(注) 1. 2019年4月26日を基準日として、2019年4月27日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行いました、2019年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。  
 2. 2019年11月1日を基準日として、2019年11月15日付で普通株式1株につき50株の株式分割を行いました、2019年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	10,960	5,689	51.8
2019年12月期	9,440	1,775	18.3

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 5,676百万円 2019年12月期 1,724百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,151	9.2	1,433	104.1	1,307	101.3	900	93.7	123.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 1社 (社名) 艾恩伊 (上海) 化粧品有限公司、除外 1社 (社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年12月期3Q	8,313,600株	2019年12月期	6,600,000株
2020年12月期3Q	一株	2019年12月期	一株
2020年12月期3Q	6,643,778株	2019年12月期3Q	一株

- (注) 1. 2019年4月26日を基準日として、2019年4月27日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行いました。2019年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。
2. 2019年11月1日を基準日として、2019年11月15日付で普通株式1株につき50株の株式分割を行いました。2019年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績見通しについては、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は見通しと大きく異なることがあります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げ前の駆け込み需要による反動の影響と消費増税による個人消費の落ち込みが残る中、新型コロナウイルス感染症の流行により、経済活動の停滞や個人消費の悪化などの大きな影響を受けました。世界的にも感染拡大収束の見通しは立っておらず、国内外の景気の先行きは不透明な状況となっております。

このような状況の中で、当社グループは「ビューティーテックカンパニー」として、「スピード」「デジタルマーケティング」「クリエイティブ」を強みとして、独自の商品・ブランド開発モデルによって、積極的な新商品開発、マーケティング、市場開拓、海外展開及び事業提携を進めてまいりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

#### (a) 国内事業

主な事業内容は、当社が開発したブランド商品の日本国内の卸売事業者を通じた小売店及び量販店運営事業者への卸売販売、インターネットを活用した日本国内の一般消費者への直接販売であります。

国内事業では、持続的な成長に向けて、当社が強みを持つヘアケア、スキンケア、美容家電分野の継続的な投資実行及び新たなトレンド発掘に注力しました。

BOTANISTブランドにおいては、2020年7月に新しいヘアケアラインとして和の力に着目したシャンプー及びトリートメント「BOTANIST PREMIUM」を発売いたしました。また、同年8月に新たなスキンケアラインとして、ファーストエイジングケア（注1）シリーズ「BOTANIST SKINCARE EVER」を発売いたしました。ともにオンラインストア及びBOTANIST Tokyo（東京都渋谷区）、BOTANISTルクア大阪店にて販売しており、新しいカテゴリでの取り組みを行っております。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出規制等が継続している中においても、ドラッグストア及びECサイトを通じた販売は堅調に推移し、引き続き売上高の伸長に寄与しました。

SALONIAブランドにおいては、2020年8月にSALONIAブランド初となるフェイスクケアアイテム「SMART MOISTURE DEVICE」と専用のワンステップ美容液「SMART MOISTURE SERUM BASIC」を発売いたしました。また、同月に手のひらサイズの持ち歩けるヘアブラシ「スクエアイオンブラシ」を発売いたしました。ともに、ECサイト及び家電量販店等にて販売しており、SALONIAブランドも新しいカテゴリでの取り組みを行っております。既存商品の販売も順調に推移しており、引き続き売上高の伸長に寄与しました。

その他ブランドとして、禁煙をテーマとしたNICOLESSブランドでは、2020年9月に新フレーバー「レモンメンソール」を発売いたしました。モデル・タレントであるダレノガレ明美氏と共同開発したCAROME.ブランドでは2020年6月にまつ毛ケアもカールキープもできる美容液「カールメモライズラッシュセラム」を発売し、ご好評いただいております。合同会社Endianで販売するリラクゼーションドリンクブランドCHILL OUTでは、自動販売機及びコンビニエンスストアでの配荷の拡大に取り組みました。

注1 年齢に応じたお手入れ

以上のことから、当第3四半期連結累計期間の売上高は15,644百万円、営業利益は1,539百万円となりました。

(b) 海外事業

主な事業内容は、当社が開発したブランド商品のインターネットを活用した海外の一般消費者への直接販売、並びに海外のインターネット販売事業者、販売代理事業者、美容専門店への卸売販売であります。

中国においてはアリババグループの越境ECであるTmall Global及び楽天株式会社が運営する越境ECである楽天KAOLAを通じた一般消費者への販売、シンガポール、マレーシア、オーストラリアにおいては同国内に多数の店舗が展開されている化粧品・コスメショップ・小売店での販売、台湾ではドラッグストアチェーン「ワトソンズ台湾」での販売に継続的に取り組みました。また、2020年7月には、中国向け海外事業の売上及び収益力の最大化を目的として、中国に子会社「艾恩伊（上海）化粧品有限公司」を設立し、中国国内での当社ブランド販売に向けた準備に注力いたしました。まずは、アリババグループの運営するECサイトTmall.comへの販売を開始し、現地の一般消費者への直接販売を強化してまいります。

以上のことから、当第3四半期連結累計期間の売上高は582百万円、営業利益は60百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は16,226百万円となりました。また、営業利益は849百万円、経常利益は750百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は501百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

A) 流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、10,208百万円となり、前連結会計年度末よりも1,902百万円増加いたしました。その主な内訳は、現金及び預金が2,745百万円増加、売掛金が712百万円減少したことによるものです。

B) 固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、752百万円となり、前連結会計年度末よりも382百万円減少いたしました。その主な内訳は、主に繰延税金資産の減少及び敷金の減少により投資その他の資産が345百万円減少したことによるものです。

C) 流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、3,673百万円となり、前連結会計年度末よりも、2,287百万円減少いたしました。その主な内訳は、買掛金が150百万円減少、未払金が525百万円減少、短期借入金が1,500百万円減少したことによるものです。

D) 固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、1,597百万円となり、前連結会計年度末よりも、107百万円減少いたしました。その主な内訳は、長期借入金が93百万円減少したことによるものです。

E) 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、5,689百万円となり、前連結会計年度末よりも、3,914百万円増加いたしました。その主な内訳は、公募増資による新株式の発行等により資本金が2,653百万円増加、資本剰余金が1,343百万円増加したこと、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び自己株式の消却により利益剰余金が46百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度（2020年12月期）の連結業績予想につきましては、売上高23,151百万円（前期比9.2%増）、営業利益1,433百万円（前期比104.1%増）、経常利益1,307百万円（前期比101.3%増）、親会社に帰属する当期純利益900百万円（前期比93.7%増）を見込んでおります。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,269	5,014
売掛金	3,073	2,361
有価証券	50	33
商品	2,491	2,505
原材料及び貯蔵品	177	132
その他	247	164
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	8,305	10,208
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	182	187
減価償却累計額	△22	△44
建物及び構築物（純額）	159	142
機械装置及び運搬具	9	10
減価償却累計額	△7	△2
機械装置及び運搬具（純額）	2	7
工具、器具及び備品	144	132
減価償却累計額	△100	△91
工具、器具及び備品（純額）	44	41
リース資産	49	49
減価償却累計額	△34	△41
リース資産（純額）	15	8
建設仮勘定	2	0
有形固定資産合計	225	200
無形固定資産	117	105
投資その他の資産		
繰延税金資産	426	261
その他	472	186
貸倒引当金	△106	—
投資その他の資産合計	792	447
固定資産合計	1,135	752
資産合計	9,440	10,960

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,398	1,247
電子記録債務	48	25
短期借入金	1,500	—
1年内返済予定の長期借入金	844	964
未払金	1,487	962
未払法人税等	125	56
賞与引当金	33	84
返品調整引当金	79	84
ポイント引当金	15	11
その他	426	236
流動負債合計	5,960	3,673
固定負債		
長期借入金	1,660	1,566
資産除去債務	21	21
その他	23	9
固定負債合計	1,705	1,597
負債合計	7,665	5,271
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	2,753
資本剰余金	969	2,312
利益剰余金	651	605
株主資本合計	1,721	5,670
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	3	5
その他の包括利益累計額合計	3	5
非支配株主持分	50	13
純資産合計	1,775	5,689
負債純資産合計	9,440	10,960

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
売上高	16,226
売上原価	8,448
売上総利益	7,778
返品調整引当金戻入額	5
返品調整引当金繰入額	10
差引売上総利益	7,773
販売費及び一般管理費	6,923
営業利益	849
営業外収益	
受取補償金	1
受取利息	0
その他	5
営業外収益合計	7
営業外費用	
有価証券評価損	16
支払利息	33
上場関連費用	46
その他	9
営業外費用合計	106
経常利益	750
特別利益	
固定資産売却益	1
特別利益合計	1
税金等調整前四半期純利益	751
法人税、住民税及び事業税	121
法人税等調整額	165
法人税等合計	287
四半期純利益	464
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△36
親会社株主に帰属する四半期純利益	501



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	464
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	2
その他の包括利益合計	2
四半期包括利益	466
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	503
非支配株主に係る四半期包括利益	△36

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、2020年3月31日付でA種優先株式を自己株式として取得、2020年4月1日に当該自己株式を消却したことにより、その他資本剰余金が1,099百万円減少しております。

また、2020年3月31日付で第三者割当によりB種優先株式の発行を行い、SMBC事業開発3号投資事業有限責任組合からの払込みを受けたこと、及び資本準備金に組み入れた当該払込金額につき、会社法第447条第1項の規定に基づき、2020年6月29日付でその他資本剰余金へ振替を行ったことにより、資本金及びその他資本剰余金がそれぞれ375百万円増加しております。

また、2020年7月22日開催の臨時取締役会決議に基づき、2020年8月7日付でSMBC事業開発3号投資事業有限責任組合が保有するB種優先株式を取得したことにより自己株式が757百万円増加しましたが、2020年8月11日開催の臨時取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議し、同日付で自己株式757百万円を消却しました。

また、2020年9月25日に東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。株式上場にあたり、2020年9月24日を払込期日とする公募増資による新株式1,713,600株の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ2,278百万円増加しております。

これらの結果、第3四半期連結累計期間において資本金2,753百万円、資本剰余金が2,312百万円となっております。